広報 かじき

全家庭に、もれなく配布

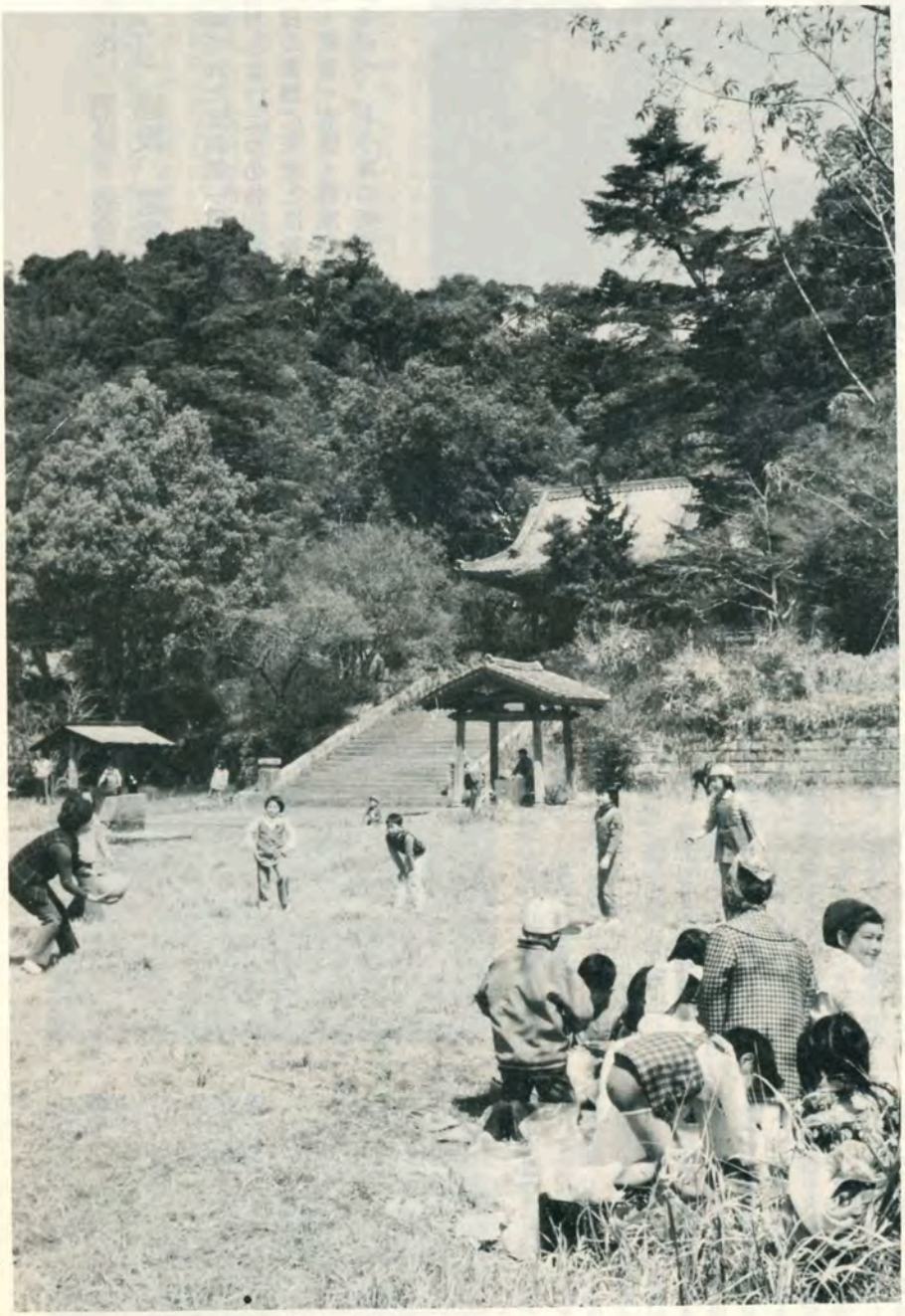
第209号

48.4.1 発行

発行 鹿児島県姶良郡加治木町役場

編集 総務課文書係

印刷 吉屋印刷所



親子会のピクニック（日木山神社で）

快い春の日ざし

うつつなに　うなずくばかり
花疲れ　　出牛青朗

○…春の日ざしの快いこのごろ花見や潮干狩、ピクニックなど人の動きも活発になります。

○…入学（園）や就職と、親も子も胸をふくらませて、このときのよろこびと感激は一生わすれられないものです。

○…福祉、教育、建設、産業の4つを基本にした町の新年度当初予算は10億605万円に決まる。

○…6日から15日まで「春の全国交通安全運動」始まる。新入学児童や園児の通学・通園が安全にできるよう、みんなでよい環境をつくってあげましょう。

48年 4 月号

■ メモ　人口／19.552　男／9.245　女／10.307　世帯／6，138　（48年3月1日現在）

48年度の一般会計当初予算 10億6百万円

3月12日開会の本会議場（午前10時18分撮影）

施政方針 福祉、教育 建設、産業 を基本に

三月十二日に開会された定例第一回町議会で、曽木町長は昭和四十八年度の一般会計および二つの特別会計予算の提出にあたって、「議会の意向、町民の要請に完全とは参らないが、できるだけこれにそう姿勢で福祉・教育・建設・産業の四つを基本方針にして進みたい」と施政方針を述べ、各予算の概要を説明しました。

町議会から

昭和四十八年度の三当初予算が上程せられましたので、私は新年度における施政の基本的方針を申し述べ、あわせて本案に盛り込んだ予算の概要を説明して、議会のご審議を煩わしたいと思います。

（一部略）

＼政府の予算／

政府の新年度一般会計予算は十四兆二千八百四十億円という大型予算案が決まり、ただ今、国会に提案審議中であることは申しあげるまでもございません。

この中で一兆円の収支ギャップで憂慮されていました本年度地方財政は、交付税の増額、地方税の自然増、地方債の増額などで、政府の地方財政に対する予算は、まずまずであったと関係者は見ているようです。

政府は、わが国経済の国内均衡と対外均衡の調和と長期的視野に立つ国民福祉の充実を基本として中小所得者等の税負担の軽減や財政の重点的かつ、効率的な配分をするなどの根本方針をかかげております。

県議会は目下、開会中ですが、国の政策に呼応して福祉と農業と教育に重点をおいて予算を計上したと、知事は説明しております。

私ども県民、とくに市町村当局には直接に関連のある問題なので、県の予算なり、その動向は十分に注目して参らねばならないと考えております。

＼時運に遅れぬ努力／

本町は県の中央に位置する小規模都市として順調な発展をとげて参ったと思います。とくに昭和四十五年来は南九州交通の要衝として九州縦貫高速自動車道ならびに隣接町に鹿児島空港の開設、さらには海の交通の要点としての加治木港の改修は本町が藩政時代、明治の時代までの県の中心地であった過去の姿が新しい形で現時代に再現されつつあり、そのための町民の期待にそうべき責務を背負う重要な時期に立ち至ったものとも申せましょう。近い将来、南九州の要衝としてクローズアップするのも夢ではないと考えております

とくに広域圏行政により町村界を越えて広い視野に立って町の発展と住民の福祉をはかっていく時機が参ったことを、われわれがその何うべき方向を間違わぬよう慎重に考えねばならないと思います

四十八年度は、お互い先を見て住民の心を心として、あらゆる困難を乗り越えて事態に対処して行くべき年だと思います。町民各位におかれても、時運に遅れぬようご努力いただき、しあわせな暮しを一層たかめてくださるよう、お願いを申しあげたいと思います。

＼町の実状／

まず本町の人口を見ますと、昭和四十五年十月国勢調査のときに人口は一万八千七百十六人ありましたものが、二年後の四十七年十月には一万九千三百十九人となりさらに四カ月後の本年二月一日には、さらに二百人ふえて一万九千五百十一人となり、人口の上昇率は町村としては本県第一位にあります。現在、県内市町村で総人口段階は第二十位にありますが、人口は今後、日を追って増加して行くものと推定しております。

いっぽう経済的に見まして発表された四十五年の町民所得は、ひとり当たり鹿児島市の四十四万八百九十四円を第一位にして本町は三十二万八千九百七十四円で第七位にあります。川内、鹿屋市などを越えている実情にあります。県民平均三十万四千円でありますから二万円以上越えています。

この姿は四六・四七年度分も近く公表されるわけですが、その後も変わらない形であると見ています。その内容などデータは、ここでは触れませんが、町民各位のご努力の姿に心から敬意を表せずにはいられないわけです。

＜四つの基本方針＞

私は、議会のご意向、町民の要請に完全には参りませんが、できるだけそう姿勢で国や県の方針に呼応しつつ、私どもが今から取りかかるべき方針を歳入の許す範囲で塩梅（あんばい）することとしました。

それは福祉と教育・文化、建設と産業という四本の柱で進もうと考えたわけです。私が申すまでもなく人間は元気で生活し、勉強し働くこと、あくまでしあわせであることが第一位でございまするしとくに、これから生いたつ若者はもちろんですが、社会人も学校や社会の教育、体育に万全を期することが最も大事であると考えますし、文化的平和な町をつくることを終始、念願している次第です。同時に交通基盤である建設と一番問題の産業のうち、とくに今日農民のための農業問題に真剣に取り組むことを考え、予算に重点配分をすることとしました。

①福祉

福祉関係のうち、老人問題は国県も一生懸命考えていますが、本町としても医療施策や老人生活の基盤である老人向け住宅、あるいは居間の建設資金の貸付や幼児の健康増進や保育施設のために力を入れるつもりですが、まず人的な育実をはかり、また、母子福祉についてもさらに、その充実をはかる所存です。

②教育

教育関係においては、指導部門や現場の関係者の大変な努力により年々向上しつつありますが、さらに小・中学校の合理的統合による教育効果の向上をはかるために中学校統合を、おそくとも五十一年度までに完成するよう各種事業や教育環境の整備をしつつ、とくに議会の事務調査、指摘事項を遂次解決するための努力をして参りたいと思います。

また、幼児教育の一環として私立幼稚園の公立化は四十八年度から実現することとなりましたが、これは関係しておられました多くのかたがたのご協力や国、県のご配慮、とくに議会議員のかたがたの一方ならぬご心配とご尽力によるもので、今後ご意志を尊重しながら立派な町としての基本方針達成のため十分なる配慮を加えるつもりです。

社会教育においても、町民憲章の精神をふまえ、明るく豊かな郷土づくりを具体的に推進できる協調性のある町民の育成をはかる所存です。同時に町民の体育について、その増進、とくに社会体育に一段の力を入れて参りたいと考えます。

③建設

土木行政のうち、指適されている道路行政については、四十七年度において失対事業や町単独事業として、また今回の補正予算で財政のゆるす限り、最後まで努力をして参りますが、新年度は木田都市計画事業の推進と道路舗装をさらに強力に進め、町民の足の確保と交通安全対策、通学路の問題の解決に資する所存です。いっぽう住宅については、町内住宅の需要に応ずるよう直接事業とあわせて民間経営住宅については適正な配慮を加え、その推進に協力し、もって定着人口の増をはかり、いっぽう町商工業者への指導協力もしながら商工会の発展を進める所存です。

④産業

農政については昭和四十五年産米より生産調整が実施され、毎年百二十ヘクタールの調整を行なってきましたが、このため農家の生産と消費の不均衡のため、商品作物の生産は消費動向に支配され、思い切った農業生産は混迷の一途をたどりつつあります。いっぽう二次、三次産業の所得は社会経済の伸張にともない、年々上昇し農業者もこれら農政不信により他産業への流失が目立って参りました

このような情勢を解決するため本町も農振法にもとづく振興地域整備事業で農用地を設定し、昨年三月知事の認可を受けました。これにもとづき四十七年度農家総合指導活動推進事業を導入し、町内全農家を対象に五ヵ年計画で農家の今後の志向を調査し、企業的農家安定兼農家、離農転職希望農家に分離し、それぞれの志向によって指導して参りたいと思います。

本町の商工会は、きわめて活発であり、企業進出も着々進んで参りますが、公害の点に十分注意して対処して参りたいと思います。販売力では市町村中、県下第十一位ぐらいにあり、指宿市、国分市を抜いています。四十五年度分を見ますと総額五十八億円ぐらいに達しています。商工業者の努力の結果でしょうが、本年も町としても力を入れ、商工業者のご奮発を期待しているわけです。

漁業関係も海岸地帯の開発で漁場もだんだん狭くなることはやむを得ませんが、近隣漁協との合併も起こっております。いずれ合併されると思っているわけですが、水中翼船就航もこの四月からと聞いていますし、海岸地帯へ工場進出も今後見込まれるわけです。企業と漁民との間に摩擦のないよう双方、立っていく道を考えていかなければならないと存じている次第でございます。

＜歳出予算＞

性質別の説明

昭和四十八年度を迎えるに当たりまして、その施政の根本方針はいま申しあげましたが、昭和四十八年度の当初予算は、この方針を柱として編成して参りました。

□総務費□

総額は十億六百五万一千円となりましたが、これは昨年当初より約一億円、つまり一一・一パーセントの増となります。この伸びを実質的に検討しますと、昨年度は統合中学校の用地取得関係予算を勘案しますと、約二億一千万円の増で約二四パーセントの伸びです

□人件費□

人件費は総額二億六千四百二十九万三千円で、昨年より五千一百九十三万四千円の増となっております。伸び率は二〇パーセントでこれは職員の給与改正による増と定数増により、また今回提案ご審議をお願い申しあげております特別職および各種委員の報酬改訂による伸びです。

□物件費□

つぎに物件費ですが、本年度の総額は約六千五百万円で、前年より約一千二百万円の増となっています。これら増の原因は需用費、旅費等の上昇と交通費の増によるものが主体です。需用費の節減については、消耗品の購入を一括して行なうことなどにより、その節減をはかり、旅費についても、その目的を失わない範囲において節減をはかりたいと考えております

□建設事業□

次に建設事業関係について申し

あげます。建設事業の総額は約三億四千七百万円で、このうち工事請負費は二億一千五百万円で前年より九千六百万円近い増として計上しました。建設事業の主なものは土木関係中、道路事業は町道の新設改良費を四千七十五万円および広域市町村圏道路整備事業として舗装事業費四千二百万円を計上いたしました、

都市計画事業として木田本通り線および区域内の都市排水施設に約四千万円を計上し、道路と排水施設の大幅な改善を推進したいと考えている次第です。

失業対策事業として総額約四千九百万円を計上いたしました。

住宅関係予算として公営住宅建設事業費五千七百万円を計上しましたが、これは蔵王団地に一種二十戸、二種十二戸を建設する計画です。住宅事情については、町の直接事業を過去十数年間、建設を促進し、その保有戸数五百四十三戸となっていますが、最近はとみに、その困窮度が高くなり、今後は町営にあわせ、民間住宅の建設の促進にも一層の配慮をしたいと思っております。

また、がけ下危険住宅移転費として三百八十万円を計上し、昨年に引き続き、この種の災害を未然に防止したいと思います。

港湾改修事業負担金として二千五百万円を計上し、前年に引続き県単・加治木港改修の経費の一部負担いたします。

民生関係の建設事業として、老人簡易作業所四十五万円、老人居室の貸付事業費五百万円を計上しましたが、これは老人の居室として一件五十万円を十か年間の償還として貸付けるものです。これは初めて取入れる事業で、老人福祉の一環として、また今後もその需要を満たすまで継続して進めて参りたいと思います。

□教育費□

教育関係の建設事業費は、まず統合中学校の用地を四十七年度中に計画しましたが、八十筆中、一部を除き買収を終わる予定です。四十八年度は引き続き造成工事を実施するための経費として四千五百万円と永原小プール建設事業費七百四十八万円、また先般ご指摘の各小、中学校の設備改善のための経費約四百万円、幼稚園遊具等の倉庫百二十万円、総合グラウンド照明施設等四百六十万円を計上いたしました。

□扶助費□

これは老人の医療費に対する補助を大幅に改善するため一千五百五十万円を計上いたしました。また児童手当は一千七百五十八万六千円に増額しました。

その他、お子さんの誕生をお祝いするため新生児・誕生証書を交付してお祝いしょう。その予算の新設や小・中学校の通学費ならびに要保護児童等に対する扶助料を含め、総額約四千九百万円を計上いたしました。これは前年より約三千万円近い増額です。

□補助金□

補助金に関する予算は、総額七千三百万円で、これは火葬場、西部衛生、西部消防、各組合分担金が四千七百六十万円、幼稚園就園補助百二十九万円、公民館関係補助百万円等を計上しております。

（欵ごとの説明は紙面の都合で要約して掲載します）

議会費　二千四百三十一万六千円で昨年より三百六十万円の増で、経常経費の増を見込む。

総務費　一億一千七百二万六千円で昨年当初より一千三百九十六万円の増ほとんどが経常経費の増で、このほか職員による宿直を廃止、委託方式に改める。「町民くらしのしおり」を発刊するなどの経費を新しく計上。

企画費　広域市町村圏事業の広域市町村圏計画は三月三十一日に知事との最終的な協議をして整備計画が決定することになっている。本町とも町独自の総合振興計画と合わせ新年度からネットワークの整備を重点に広域圏計画を進め、施設整備も広域利用を目的とした事業や町単独のものをはじめ、それぞれの計画にそった事業を推進していきたい。ネットワークについては町道の六九・三パーセントを組み施設は五カ年間に改良率六〇・一パーセント、舗装率八九・二パーセントまで引上げる計画。

民生費　新生児の誕生祝いとして町が掛金を負担する障害付保険、誕生証書を交付。敬老年金受給者の八十歳から八十四歳まで千円引上げて三千円を支給する。老人の簡易作業所の建設。温泉保養券の利用を月一回から月三回にする。はり、きゅうの施術経費を一部補助。老人医療無料化による扶助費千五百五十万円などを計上。

保育所関係で、幼児教育の完全を期するための所長二名を配置し永原保育所に職員一名を増員計画

衛生費　ミルク支給事業を現在の生活保護世帯、非課税世帯、町民税均等割世帯のほかに四十八年度からは町民税所得割を納入するかたがたまで枠を拡大して支給したい。

予防接種のインフルエンザと日脳は義務教育の児童、生徒や六十五歳以上の老人の接種料を無料化予防接種に従事する医師に対して予防接種事故保険料として十三人分を町が負担。

労働費　本年度も失対事業は舗装を中心に進めたいそのほか路面の改修、小規模排水溝の整備等。

舗装計画の主なもの―柳田・萩原線、箱水線、田中・箱水線、札立線、城ノ坂線、於里中線、吉原後線などを計画。

木田方面＝浜村中線、須崎・中福良線、岩原・寺後線、西塩入線小鳥通り線、チシャの木線、竜門司坂線などを考えている。

上場地区＝湯の谷線、曲田・桃木野線、隈原線、石野線、迫線、長谷線、弓削線、日木山線などを考えている。

農林水産業費　農林水産業費の総額は四千九百四十七万一千円で前年同期より二百五十九万八千円の増。

農業振興費＝負担金補助及び交付金三百五十四万五千円は企業農家団地造成補助九十万円、農業資金利子補助百三十万円など農業関係の各種団体への補助。

地籍調査費＝五百九十一万六千円で、木田の外場および錦江町の一部を実施するための所要経費

林業振興費＝負担金及び補助金百四十四万七千円は、竹林改良補助八十六万五千円を含めて林業関係の各種事業に対する補助。間伐林道新設経費として九十万円を見込んだ。

商工振興費＝主として商工会補助七十万円、夏祭り助成六十万円、借入金利子補給二十八万八千円、貸付金五百万円は商工経営資金貸付四百万円と商工会福利厚生

資金百万円を見込んだ。

土木費

二億四千百三十六万一千円を計上、昨年に比し八千八百七十七万三千円の大幅な増。

九州縦貫自動車道加治木・吉田間の建設も本年秋には竣工のはこびで、国道十号線バイパスの設計協議も終わり、用地買収の段階にはいっている。加治木・溝辺間の九州縦貫道建設計画もすでに設計協議もほぼ終わり、地権者代表も決定、着々進行しつつある。道路公団の計画どおり本年秋には着工できるよう町も積極的に協力、一日も早く完成して道路交通の緩和を図られることが期待されている

県では有川、蒲生線の道路舗装が、下手山田・加治木線（みろく線）の改良が計画されている。

町では市町村道路整備事業として西別府線の改良を昭和四十一年度から実施しているが、本年も継続し、そのほか中野線二カ所の改良を考えている。

都市計画事業として木田本通り線の決定をみているが、事業決定がなされていないため四十八年度にぜひ事業決定がなされるよう今後強力に交渉を続けていきたい。

本年度は広域圏道路整備計画により、町内幹線道路の舗装を実施するために四千二百万円を計上、汐入線ほか九カ所を予定している

都市排水の流末処理は柳田、天神、内原田、田中、端山を実施したいと考えている。

加治木港は鹿児島湾奥の重要港湾として昭和四十五年分甲種港湾として指定され、着々整備されている。本事業も四十九年度で完了する予定。

災害復旧費

四十六年災の市野辺川線ほか一件

四十七年災の城ノ坂線ほか十五件の査定分を計上し過年度災の復旧に努力したい。

消防費

総額四千一百八万四千円を計上、西部消防組合分賦金に二千六百四万八千円を計上、常備消防費に一千四百六十九万二千円を計上した。消防自動車ポンプ一台の買い替え予定で三百万円を計上した。

教育費

教育予算の総額は一億九千六百七十七万四千円で予算総額の二十パーセントを占めている。

教育総務費＝教材センターの教材備品購入やセンターへの人員配置など整備充実に配慮。

小中学校費＝教材備品、教育機器の充実、教職員研修の推進。永原小プール建設は補助事業として採択されるよう国や県にはたらきかける。

中学校統合計画に伴う校地造成工事費として四千五百万円を計上本年度で造成工事、関連取付道路の整備をする。

児童生徒の保健、体育の面から日脳、インフルエンザの予防接種の無料化。学校給食用の光熱水費を本年度から公費負担にし父兄の負担の軽減に配慮した。

本年度から南九州病院（旧療養所）に入院する筋ジストロフィー学齢児を対象とした肢体不自由児の特殊学校を小中別に一校ずつ開設することになる見込み。学級開設に必要な教材備品費など十万円を計上、恵まれない子どもの教育にもできる限り町としても配慮をなしていきたい。

町立加治木幼稚園の設置に伴い職員の充当や園具購入費、維持管理費を計上。私立幼稚園に入園している世帯に対して一部補助を計上した。本年度の国の奨励費が決定した時点で具体的に決めたい。

社会教育総務費は一千一百七十二万一千円。男子成人学級、婦人家庭教育学級、幼児をもつ母親学級など今日、家庭教育や社会教育は重大であるので、今後とも大いに力を入れる。

公民館費は成人式、地区公民館長、社会教育大会、花いっぱい運動など報償費や委託料、また部落自治会、地区公民館活動の推進助成費などの費用二百十万円を計上

体育関係は職員をふやし、社会体育の強化をはかる。新たに夜間照明施設を設け、勤め人の夜間の運動に資するなど、町民のスポーツを通じての健康保持にとくに努めたい。

（歳入予算は省略します）

恩給など担保に
国民公庫が融資

国民公庫では、恩給・扶助料共済組合年金などの支給を受けているかたがたに、これらを担保にして融資を行なっています

借入れ手続きは簡単で、必要書類がそろえば、その日のうちに融資が受けられます。資金の使いみちは、とくに制限がありませんので、事業資金のほか、住宅資金、教育資金、医療費、冠婚葬祭費などが必要なとき利用されると便利です。

○融資額　五十万円以内
○利　率　年六パーセント
○保証人　一名以上…家族も可

詳細は次へおたずねください

鹿児島市名山町一の二六
国民金融公庫鹿児島支店
○九九二ー㉓一二四一

心と心を結ぶ
〃便りの日〃

ことしも新卒者の就職期をむかえ、多くの若人たちが県内や県外の新就職先に出発しました

就職者が仕事を終って部屋にもどったとき、故郷からの「愛の便り」は、今日のつらかったことやさびしさをきれいにいやし、励ましてくれるものです。

毎月十五日は「便りの日」です心のきずなが断たれないよう「愛のたより」で故郷のかおりを送りましょう。

「愛のたより」は社会運動の一環としてすすめられています

風景入り通信日付印
加治木郵便局で発行

加治木郵便局では名物「くも合戦」の風景入り通信日付印を発行し、全国の郵趣家からの押印依頼に応じていますが、このほど〃くも合戦由来記〃のチラシも作成して、さらに広く郷土紹介を全国にひろげています。

同局では「愛の便り」にも同封するなど大いに活用してもらいたいーと、町民に呼びかけています。

そろそろ暖房
器具の始末を

この冬の寒さから、わたしたちを守ってくれた暖房器具も、暖かさの訪れとともに、そろそろしまうころになりました。

器具のしまいかたで、ずいぶん寿命が違います。使うときの便利さを考えて、ていねいにしまいましょう。

確定申告の誤り訂正ができます

昭和四十七年分の所得税確定申告は、三月十五日で終りました。しかし、確定申告をしたあとで記載内容がまちがっていたことに気づいたかたは「修正申告」や「更正の請求」などの手続きを税務署にすれば、正しい申告に直すことができます。

＝修正申告＝

さきに提出した確定申告書に、申告もれの所得等があって不足分の税金があったり、記載した還付金が多すぎた場合。

＝更正の請求＝

確定申告書に記載した所得や税額の計算にまちがいがあり、税金を納め過ぎていた場合や記載した還付金が少なすぎた場合。

くわしいことは加治木税務署へおたずねください。②二一六一番

トランシーバーは免許を受けて使用

トランシーバー（市民ラジオ）は観光や事業上の簡易な連絡に、また、学校や家庭などの行事等のときの近距離連絡などに広く利用されています。

ところで、このトランシーバーは必ず所轄の地方電波監理局長に申請書を提出して、その免許を受けなければ使用できないことになっています。つまり、無免許で使用すると不法無線局として罰せられます。必ず免許を受けてから使いましょう。

▽免許の受けかた　機器を購入すると免許申請書が添付されています。これに必要な事項を記載して収入印紙八百円をはり「九州電波監理局」＝熊本市二の丸町一の四へ提出してください。不明な点もお尋ねください。

人身被害者に見舞金を支給

占領中、沖縄においてアメリカ合衆国の軍隊または、その要員などによる交通事故や暴行、その他の不法行為のために死亡した人、またはケガをしたり、病気になった人で「昭和四十二年高等弁務官布令第六十号」による支払いをうけなかったかたには、関係法律に基づいて国から見舞金が支給されます。

この見舞金の申請または問合わせは、次のところで取扱っています。なお、申請期限は五月十四日までです。

「福岡防衛局事業部業務課」
福岡市中央区大手門二丁目五番
〒八一〇　電話78－六一三一

惜春の雨降るもよし友といて　松永愛子

晩学のペン滞る春の詩　井上透山

永き日やそろばん倦めば又俳句　横山江南

打ちおろす工夫のつるはし　春日撥ね　蓑毛夏江

遠滝の見えて緋桃の昼深し　鶴田　耕

寒負けの長の病や口達者　林　玄洋

啓蟄や畑打つ鍬をやすめつゝ　三浦大鵬

旅に疲れ皈心スクリュウ春を巻く　恒吉斗南

啓蟄や切貼障子開け放ち　原口青鹿

候鳥地鳥となりしや草食む　永田禾陽

今月の納税

固定資産税（一期分）

軽自動車税（全期分）

健保で治療を受けるときの心得

健康保険や日雇労働者健康保険は、被保険者やその家族の人たちが病気になったり、業務外の理由でケガをしたときに一度に多額の医療費を負担することがないよう、被保険者と事業主が平常から保険料を出しあって、医療費の支払いにあたることを主な目的としている制度です

被保険者やその家族の皆さんが保険診療を受ける場合は、とくに次のことに留意し、正しい保険診療を受けましょう。

▷保険での診療の際は、被保険者証を必ず、病院・診療所の窓口へ提出する。

▷初診料などの一部負担金は必ず支払う。

▷受診にあたっては、注射や薬の注文はやめ、医師の指示に従う。

▷仕事上での病気やケガは健康保険や日雇労働者健康保険の診療の対象とされない。このような、診療は労働者災害補償保険法や労働基準法による補償の対象となる。

▷いぼ、肌あれ、あざなど、とくに仕事や日常生活にさしさわりのないものは保険では病気あつかいにされない。また隆鼻術など美容上の目的で行なわれる整形手術や普通の健康診断、正常な妊娠および出産は、保険では受診できない。

▷疲労回復や病気の予防のために栄養剤などを受けることは、保険ではできない。

▷受診が終ったら、被保険者証に診療内容の記録をしてもらい、被保険者証は必ず、もらいうけてかえる。

▷みだりに病院や診療所を転々と変えることは、医療費のムダになるから気をつける。

▷病気・ケガ・出産などのため保険医に意見書や証明書を発行してもらうときは、その内容に注文をつけることはやめる。

▷病気やケガは、自動車事故など、第三者の行為によって生じた場合は、必ず届け出るようにする。

話題あれこれ

表彰された町選管
衆議選の努力讃え

町選挙管理委員会は、このほど県の選挙管理委員会から表彰されました。

これは昨年の十二月十日に執行された衆議院議員の総選挙にあたって、一致協力、適正な管理と明るく正しい選挙の推進のために努力されたとして、その功績を称えられ今回表彰されたものです。

関係されたかたがたや有権者ともども、この受賞を喜びたいものです。

中学卒の就職者
十八人の壮行会

中卒就職者の研修・壮行会が三月十三日に町福祉センターで開かれました。

加中の前田峻くん（今町）ら十八人の就職者は「就職の心構え」など研修したあと、町長や議長、郵便局長、婦人会長から「大きな声で堂々と伝統あるカゴシマ弁をしゃべれ。月に一回は郷里に便りを出せ。明るく、たくましく巣立ってほしい」などの激励をうけました。

町から就職祝いに洗面道具、町婦人会から竜門司焼の湯のみが全員に贈られました。

このあと全員は就職先で役立つオハラ節やハンヤ節を習い、なごやかなうちに壮行会を終りました

西部消防に救急車
生命保険協会から

町内のみろく前にある姶良郡西部消防組合に、鹿児島県生命保険協会（加盟十七社）から、救急車一台が贈られました。

この救急車は、同協会加盟社の従業員約五千人が年に一回、一人四百円ずつ献金して、前年度の繰越金と合わせて二台、二百八十万円で購入したもので（一台は串木野市消防署へ）生保労連鹿児島支部も協賛団体となっています。

三月十日、県消防会館前で贈呈式が行なわれ、西部消防組合管理者の曽木町長と下猶消防長が参列しました。

寄贈された救急車は二千CCで九人乗り。同署では連絡用の無線や救急機材などを現在装備中で、今後の活動が期待されます。

火葬場が完成
四月一日操業

西部衛生処理組合（加治木、姶良、蒲生、溝辺の四カ町）が姶良町鍋倉に建設中の火葬場がこのほど完成、三月三十日に落成式が行なわれました。操業は四月一日からです。

▽手続き　火葬許可証を役場でもらい、火葬場に提出、申込む。

▽申込時間　午前八時半から午後三時まで（緊急の場合を除く）

▽料金（四カ町以外は五割増）

大人…満13歳以上　千五百円

小人…満13歳未満　千　円

死産児、改葬遺骨、汚物など　五百円

▽休業　友引きの日は操業しない

▽お願い　棺の中に燃えないものを納めないようにお願いします

春を呼ぶ初市
ことしも盛況

加治木の町に、春を呼ぶ行事として、古くから続いている初市はことしも三月二日と三日の両日、蒲生田通りを中心にして開かれました。

庭木や家庭用品、鼻をくすぐる香ばしい焼イカの店など、約三百の露店が並ぶ初市は、金曜と土曜と好天に恵まれ、町内や近郊の人たちでにぎわいました。

最近は、ひと昔まえの農機具や景気のよいセトモノ売りなど、影をひそめ、竹製品がわずかに昔の名残りをとどめていました。

庭木の前はマイホーム・ブームで大満員。値切る人、まけないオヤジ。これだけは、いつの時代でも変わらぬ初市ならではの風景。

新入学（園）児を事故から守ろう

4月6日から「全国交通安全運動」始まる

四月六日から十五日までの十日間、全国いっせいに「春の交通安全運動」が始まります。

新入学や入園児をもつ家庭ではその子の成長の喜びと、大きな期待で、こころのはずむ思いがするものです。しかし、この時期は毎年、子どもの交通事故がふえています。そこで新入学（園）児をもつ家庭はもちろん、みんなで子どもたちの安全な通学（園）と安全な環境づくりに気を配りたいものです。

▽自宅から学校（園）まで一番安全な道順を教え、行き帰りとも同じ道を、帰り道では途中で遊んだりしないで、まっすぐ家に帰るようにする。

▽服装は、なるべく機敏な行動ができるような服装に、持ち物はなるべく少なく、そして持ち物の量や持ち方の指導をする。

▽学校（園）へ送り出すとき、お使いや遊びに出るとき「車に気をつけて」と、ひと声をぜひかける。

▽事故のない、平和な一日にするためには、まず朝のスタートが大切である。こどもを学校や幼稚園に送り出すときには、次の三つをぜひ守る。

① 遅刻をさせない。
② 忘れ物をさせない。
③ 叱らない。

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

五千円　高崎　海老原キヨエ（母徳田ヒデ）

五千円　港町　内田寅彦（姉清水シゲ）

一万円　市来原　市来原静（妻ヨシ子）

五千円　須崎　郡山正（父清市）

三千円　田中　常盤ナルエ（夫幸蔵）

一万円　港町　森元サツ子（母西田サワ）

五千円　下東木　地久里清志（妻キサ）

一万円　隈原上　坂元則男（父清）

二万円　本町　松田経（妻トミ子）

五千円　岩原西　蓬原麗子（母アヨイ）

三千円　田中　久保薗チョ（夫幸太郎）

育英資金へ

一万円　市来原　市来原静（妻ヨシ子）

三千円　柁城校区婦人会（特志）

三月二十日までのご寄付を掲載しました。

4月の当番医

1日	玉利病院	②二三二八
8日	壱岐医院	②二二二二
15日	池田医院	②二二二〇
22日	岩崎医院	②二三一五
29日	大川医院	②二〇三二
30日	神田橋医院	②二〇二四

※30日は現行の「国民の祝日」の関係法が改正された場合です。

随想 ㊶

暗い陽

曽木隆輝

鹿児島の港で、数人の子どもを道連れに海に飛び込んだ母親があった。横浜では子ども三人をおんぶし、だっこし、手を引いて線路にとび込んで死んだ母親もあった。若い夫婦が、ままこを子をせっかんして殺したのもある。

先生に叱られて、雪の山へのぼって、こごえ死んだ二人の中学生もいた。独居老人が火災を起こし焼け死んだ。こんな記事が連日新聞に見える。陽は明るく暖かくなるのに、暗い話だ。

福祉をとなえ青少年育成が叫ばれる今日、なんという情けないことか。なるほど生活は苦しいだろう。とくに母子家庭では、父親の家出したところは一層、悲惨だ。

子どもまで道連れにする母親の気持ちはわかる。が、なぜだれかに相談しないのだろう。民生委員でも役場でも、またお隣りの人にでも。生活の様式や方法が進めば進むほど、隣り同志の助け合いが必要になってくる。私たちは隣人の私事に立入ることは避けねばならないが、無関心であったり、憎み合ったりでは、生きて行かれぬと思う。

柁城校と錦江校の新卒業生のなかに、それぞれ一人ずつの交通遺児の女生徒があった。県の交通遺児たすけ合いの会から、お祝い金がよせられたので、私から伝達した。そして私は「お父さんが生きておられたら、どんなによろこんでくださったろう。が皆さんは、悲しみを越えてよく勉強し卒業され、おめでとう。勇気を出して中学へ進んでください。何か困ったこと、心配なことがあったら、先生でも私たちへでも相談してください…」と申しそえた。はっきりした二人の目は輝いていた。

政治の行きとどかない点も多い社会の悪いこともある。がそれはおたがいよくして行く以外、道はない。おとなが過保護でなく、無理解でなく、朝夕のふれあいのなかで、正しく節度を守り、正を正、悪を悪として、年少者を導くことをえ、実行しない限り、健全な青少年は育てないし、社会悪はつのるばかりだ。

その人権は尊重しつつも、補導は、厳正にすることこそ、そして青少年の健全な成育を守ってやることこそ、新しい年度のおとなの使命だと思った。